

平成26年度「岐阜県ふるさと教育週間」実施報告書

学 校 名	関市立安桜小学校		
実 施 期 間	平成26年11月2日(日)～平成26年11月9日(日)		
実 施 概 要	① 家族参観 ② PTA事業「べんとうの日」の実施 ③ 親子クリーンアップ活動 ④ 3年生親子会「凧作り」 ⑤ 4年生親子会「福祉体験活動」 ⑥ 関商工高吹奏楽部との交流活動 ⑦ 3年生刃物工場見学 ⑧ 特別支援学級合同関牛乳見学 ⑨ 2年生関市立図書館見学 ⑩ 緑中校区クリーンアップ活動 ⑪ 地区文化祭参加(鼓笛披露、作品展示等) ⑫ PTA事業三世代		
実 施 内 容	学習・取組の分野 <input type="checkbox"/> 自然 <input type="checkbox"/> 歴史 <input checked="" type="checkbox"/> 文化 <input checked="" type="checkbox"/> 産業 <input checked="" type="checkbox"/> その他		
	公開の方法 <input checked="" type="checkbox"/> 授業公開 <input type="checkbox"/> 成果発表 <input checked="" type="checkbox"/> 交流活動 <input type="checkbox"/> 講演会等 <input checked="" type="checkbox"/> 地域行事等参加 <input type="checkbox"/> その他		
来 校 者 数	保 護 者	400	人
	地 域 関 係 者	100	人
実 施 状 況	① 授業公開 各学級及び学年で、2時間を授業参観とし、各教科や道徳、特別活動等の授業を公開した。(通常より1時間遅れの開始) ② PTA事業「べんとうの日」の実施 親子で話し合い、発達段階に応じた選択ステージを決め、自分のできることに挑戦した。 ③ 親子クリーンアップ活動 親子で歩いて登校し、地域を美しくする意識を高めるため、登校時に通学路のゴミ拾いをした。PTA本部役員が児童玄関前であいさつ運動を兼ねてゴミを分別回収した。 ④ 3年生親子会 凧作り 事前に考えたデザインの凧を親子で作り、出来上がった後、運動場で実際に凧あげをして楽しんだ。 ⑤ 4年生親子会 福祉体験活動 福祉団体の方々をお招きして、親子交代でアイマスクを着用し歩行や階段の昇降を行ったり、点字で文章を書いたりして、目の不自由な方の日常生活を体験した。 ⑥ 関商工高吹奏楽部との交流活動 関商工の吹奏楽部の演奏・演技を全校児童で鑑賞したり、5・6年生はパートごとに高校生から指導してもらったりした。 ⑦ 3年生刃物工場見学 市の伝統産業で校区にある刃物工場を見学させてもらった。包丁の製造過程を間近に見て、全国的にも有名な商品が近くの工場で作られていることを知った。		

	<p>⑧ 特別支援学級合同関牛乳見学 校区の牛乳工場で製造過程を見学し、アイスクリーム作りを体験した。</p> <p>⑨ 2年生関市立図書館見学 校区にある市の図書館を見学した。地下の書庫を探検したり、昔の新聞を見せてもらったりした。</p> <p>⑩ 緑中校区クリーンアップ活動（中学校区の3小学校で同時に実施） 校区の中学校から、生徒会が説明に来て、登校時に通学路をきれいにしながら歩いてきた。</p> <p>⑪ 地区文化祭参加（鼓笛披露、作品展示等） 本校の伝統である6年生の鼓笛の演奏を、地域の文化祭のオープニングで発表した。また、全学級6点ずつの作品を展示した。</p> <p>⑫ PTA事業三世代交流会（グランドゴルフ、昔の遊びやおやつ等） 市の老人クラブ連合会や子どもたちの祖父母、保護者、子どもたちが一緒になって、グランドゴルフやトントン相撲、輪投げで遊んだり、白玉団子を作ったりした。</p>
<p>成果及び課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者や地域の方が、子どもたちの様子を参観したり、あいさつを交わしたりする中で、学校や子どもの存在を身近に感じ、みんなで子どもたちを見守ろうとする気風に繋がった。 ・通学路を親子で話しながら歩き、ごみを拾ったり、こども110番や安全ぼうやの確認をしたり、地域の史跡や名所等について話題にしたりして、自分たちの住んでいる町を知り、美しくしようという願いを共有することができた。 ・親子会では、親子同士で関わる場があり、同じ学年の保護者、同じ安桜地区の住民としてのつながりを感じる中でふるさとをともにする者としての絆を深めることができた。 ・福祉体験では、目の不自由な方の立場を理解することができ、人権を大切にしている地域の一員としての自覚を深めることができた。 ・昔の伝統的な遊びである凧を、親子で手作りし、できた凧を親から教わりながら揚げて遊ぶことができた。 ・関商工高との交流を通して、よりレベルの高い演奏に憧れをもつとともに、学校の伝統でもある鼓笛に取り組んでいることに喜びを感じ、継承していきたいという願いをもつことができた。 ・校区にある工場を見学することで、市の伝統産業や身近にあるものが近くで作られていることを知り、自分たちの地域に誇りをもつことができた。 ・地域の行事に参加し、地域の方々から認めってもらうことで、愛着をもつことができた。 ・どの取組も例年継続して取り組んでいるが、単発で終わることが多く、次に繋がるような取組となるよう位置付けていきたい。